

ねらい

働いていく上では「幸せ・不幸せ」が付き物だが、直面する可能性のある不幸には、それを助ける法律や制度があることを理解させる

授業の展開

※時間はあくまで目安です

(バージョン1：1時限)

時間(所要)	内容	留意点・備考
0:00 (5分) 導入とテーマの提示	<ul style="list-style-type: none"> ○授業者から生徒に、「幸せと不幸せって何？」という問いを提示する →ペアで対話 ○授業のテーマ「働く幸せ・不幸せと労働法・制度」を提示する 	ワークシートAを配布
0:05 (5分) 個人ワーク(内省)	<ul style="list-style-type: none"> ○「働く」と「幸せ・不幸せ」についてシンキングツールを用いた個人ブレインストーミング →まずは「働く幸せと不幸せ」について、自分なりに考え、ワークシートに書き込ませる ※生徒がアルバイトをしていない場合もあるが、その場合は働いている家族などのことを想像させる 	
0:10 (10分) 読み込みと検討(思考)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み込み、ワークシートのシンキングツールに追記させる(個人で) ※授業者の判断(生徒の状況等)で、先に資料を見せるか後で見せるか選択する 	
0:20 (10分) 対話	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに書き込んだことをもとに、ペアで「働く」と「幸せ・不幸せ」について対話させる 	
0:30 (10分) 説明	<ul style="list-style-type: none"> ○働く幸せを守り、不幸せにならないように、労働法と制度があることを説明する ※「ワークシートB」を使用してもよい 	
0:40 (10分) まとめと振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に授業で学んだことの整理と感想をまとめさせる(個人ワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・「働く幸せ・不幸せ」をワンセンテンスで表してみる ・学んだこと、気づいたこと、感想 ※特別活動として実施する場合は、「授業を踏まえて自分が働くときにどう行動しようと思ったか」についても考えさせる ○クラス全体で共有させる 	各自記述して提出

(バージョン2：2時限を要する)

時間(所要)	内容	留意点・備考
0:00 (5分) ゲストの紹介	・ゲストの紹介(3人～5人程度を想定) ※ゲストは仕事やアルバイトをしている方(卒業生等)	生徒をグループに分けておく
0:05 (5分) テーマの提示等	・授業テーマを提示する ・インタビューのルールをクラスで共有する	「働く」に限定した幸不幸を聞くことにする
0:10 (20分) インタビューと手法の説明	○各グループから1ペア(2人ずつ)を出して、ゲストに「働く幸せ・不幸せ」についてインタビューを行う 【入れ替え制、10分×2】 →ペアはそれぞれ「働く幸せ・不幸せ」の視点でインタビューを実施(あらかじめ定めておく質問事項の例) ・働いていて「幸せ」だと感じることはありますか。あるとしたらどういう時ですか？ ・働いていてこの先どんなことが起こってしまったら「不幸」になると思いますか？ ・将来働く私たち高校生に、何かアドバイスを御願います。 ○KP(紙芝居プレゼンテーション)の作り方の説明 ・全員が一度にインタビューはできないため、クラスを半分に分け、インタビューしない時間を用いて、授業者から実物を示しながら、どのようなものを作って欲しいか説明する	・ワークシートBを配布 ・例えば「半構造化インタビュー(最初に聞くべき2、3問程度は最初から用意しておいて、他は好きに話してよいという形態)」を用いさせる ・できればモデルKPを用意するとよい ※第4章に作り方の簡単な説明あり
0:30 (5分) 確認	グループ内で各ペアが手分けして行ったインタビュー内容を確認・共有	
0:35 (15分) 説明(刺激)	働く幸せを守り、不幸せにならないように、労働法と制度があることを説明する ※添付の「ワークシートB」等を用いてもよい ※労働基準監督官と労働基準監督署に関する動画を見せてもよい	・必要に応じ資料を用意 ※動画については詳しくはP6参照のこと
0:50 (10分) 休憩・交流	適宜休憩を取りながら生徒・教員・ゲストで交流する	
1:00 (15分) KP作成 (創造・協働)	各グループでKPを作成する	
1:15 (15分) 共有	○いずれかの方法でクラス内での共有を図る A)各グループからプレゼンさせる B)クラスの壁に張り、生徒は見て回る ※生徒に他のグループのKPを見せながら、気づきや感想をメモさせる	
1:30 (10分) まとめと振り返り	○生徒に授業で学んだことの整理と感想をまとめさせる ・「働く幸せ・不幸せ」をワンセンテンスで表してみる ・学んだこと、気づいたこと、感想 ※特別活動や総合学習として実施する場合は、「授業を踏まえて、自分が働くときにどう行動しようと思ったか」についても考えさせる ○生徒にペアで共有させる	各自記述して提出

ワークシートA

年 月 日 年 組 名前：

★ベン図とは★

集合の関係を視覚的に分かりやすく表した図のことである。

【目標】授業の主役であるわたしたち(生徒)が主体となり、
協働性・社会性を身につけ、一人一人が学び高め合う！

学び合い、高め合い、みんな成長！／アクティブラーナーになろう！／傾聴のスペシャリストになろう！

本日の評価基準(ルーブリック評価)

A	B	C
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、自らの意見をもとに他者と学び合い、高め合うことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、他者との対話を通じて自らの意見を持つことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、ある程度理解し、自らの意見を持つことができる。

1チーム2～∞人

※教え合い・質問を積極的に！
※時には1人でもOK！

◆「幸せと不幸せって何？」→ふたりで話をしてみよう！

ワンセンテンスでまとめる(ふたりで話をして、重要な事を一文で書き残そう！)

◆本日のテーマ

「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係は？
～「働く」って何？ 「幸せ・不幸せ」って何？～

◆シンキングツールによるブレインストーミング

★シンキングツール(ベン図)を活用して、「働く」と「幸せ」について自分たちが持っているイメージを“みえる化”してみよう！

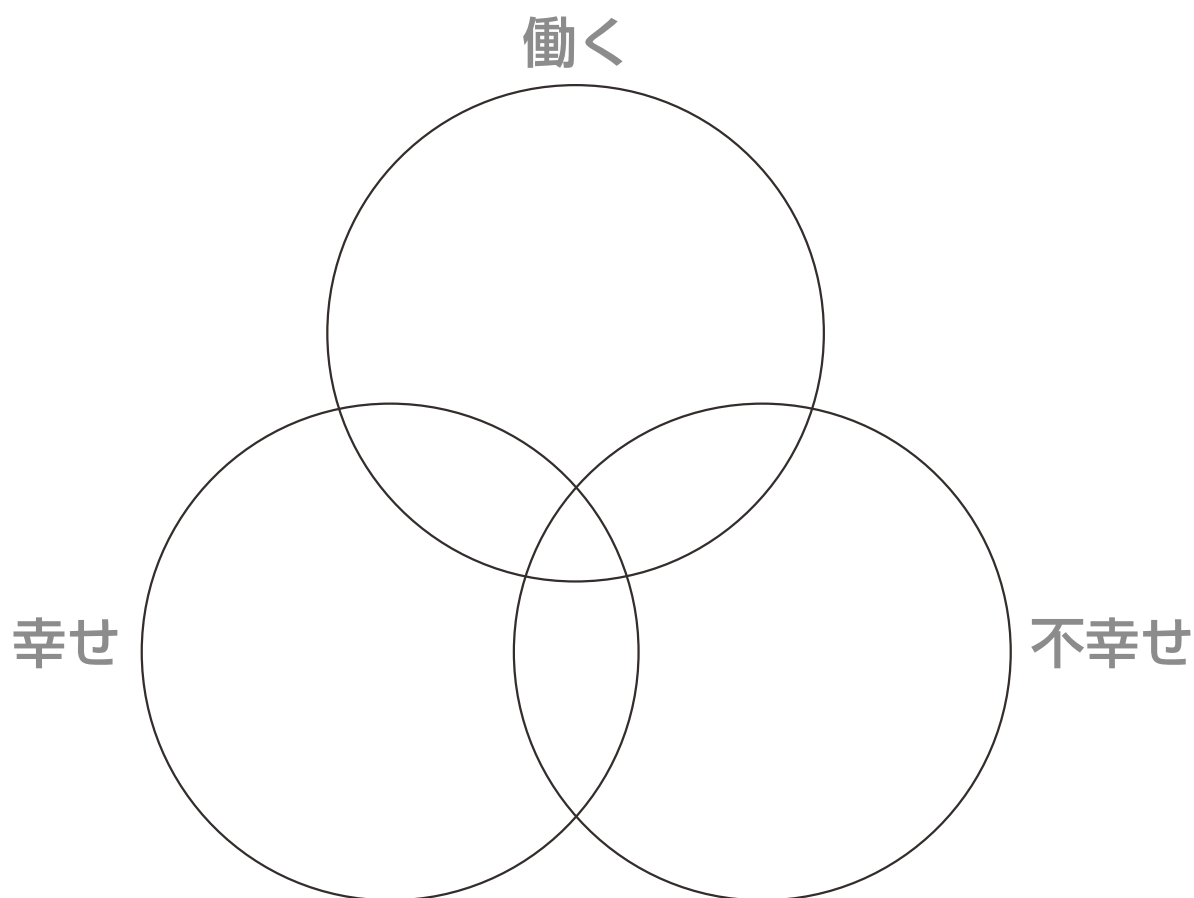
どんどん追記して

◆資料読解&思考整理

★別紙資料を参照して、ベン図をさらに深化させてみよう！

※参考資料：国民生活選好度調査結果&「労働時間や働き方のニーズに関する調査」(労働者調査)

<「働く」における「幸せ・不幸せ」のベン図(シンキングツール)>



◆ ペアによる対話ワーク (2セット)

- ★一人2分間で、話し手は「働く」における「幸せ・不幸せ」についてベン図をもとに話してみよう！
- ★聴き手は傾聴姿勢を意識しましょう。気づいたことを下の欄に書き残そう。

MEMO欄

◆ 学習

- ★働いていて「不幸せ」にならないために、労働に関する法と制度があることを理解しよう。
※参考資料：『知って役立つ労働法』&『まんが知って役立つ労働法Q&A』

MEMO欄

1章

2章

3章

9

4章

5章

6章

7章

8章

ワークシートAの解答例

年 月 日 年 組 名前：

★ベン図とは★

集合の関係を視覚的に分かりやすく表した図のことである。

【目標】授業の主役であるわたしたち(生徒)が主体となり、
協働性・社会性を身につけ、一人一人が学び高め合う！

学び合い、高め合い、みんな成長！／アクティブラーナーになろう！／傾聴のスペシャリストになろう！

本日の評価基準(ルーブリック評価)

A	B	C
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、自らの意見をもとに他者と学び合い、高め合うことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、他者との対話を通じて自らの意見を持つことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、ある程度理解し、自らの意見を持つことができる。

1チーム2～∞人

※教え合い・質問を積極的に！
※時には1人でもOK！

◆「幸せと不幸せって何？」→ふたりで話をしてみよう！

ワンセンテンスでまとめる(対話をして、重要なことを一文(ワンセンテンス)で書き残そう！)

みんなが笑顔でいられること(幸せ)

衣食住に不自由している(不幸せ)

◆本日のテーマ

「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係は？
～「働く」って何？ 「幸せ・不幸せ」って何？～

◆シンキングツールによるブレインストーミング

★シンキングツール(ベン図)を活用して、「働く」と「幸せ」について自分たちが持っているイメージを“みえる化”してみよう！

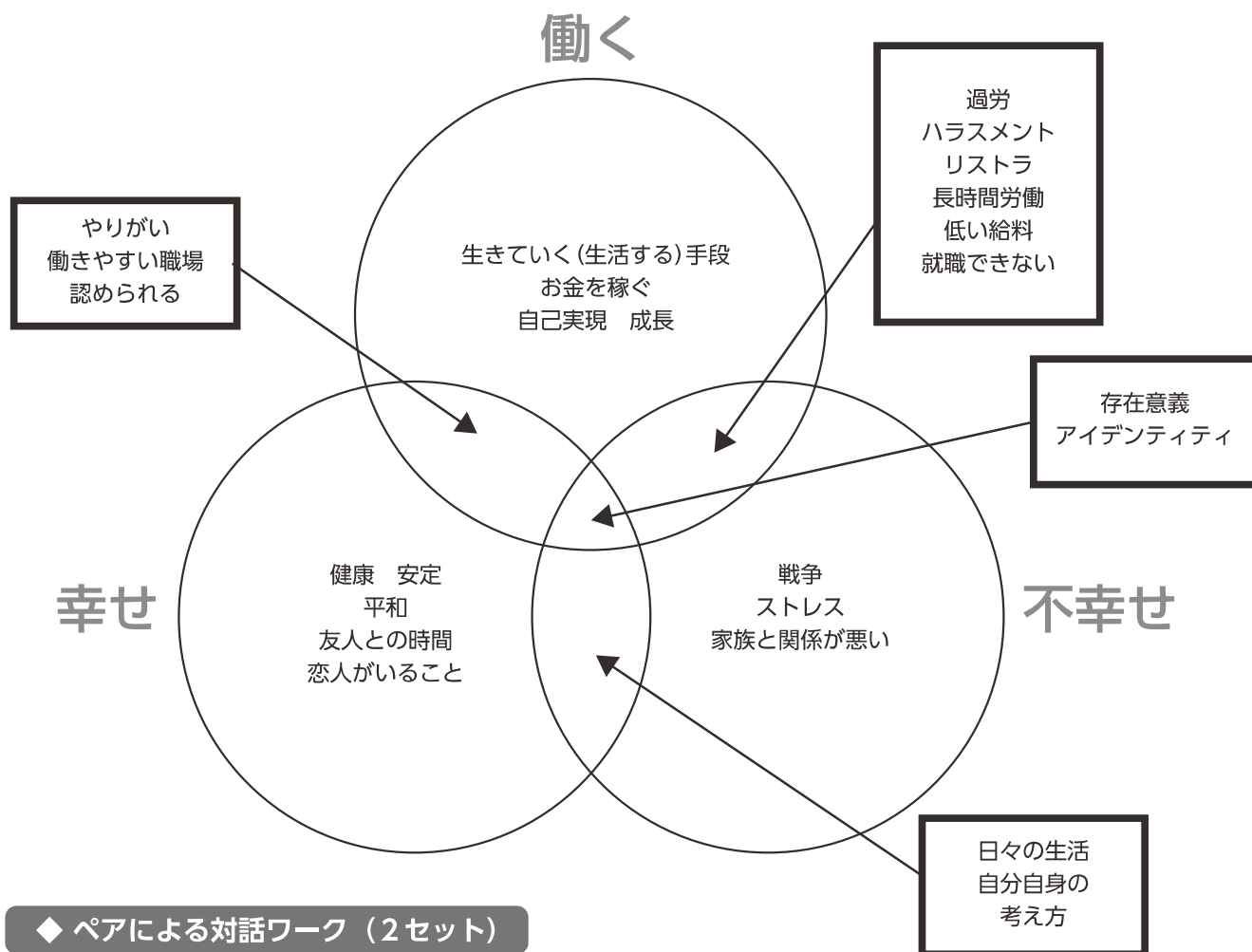
“質より量”で
どんどん書こう！

◆資料読解&思考整理

★別紙資料を参照して、ベン図をさらに深化させてみよう！

※参考資料：国民生活選好度調査結果&「労働時間や働き方のニーズに関する調査」(労働者調査)

<「働く」における「幸せ・不幸せ」のベン図(シンキングツール)>



◆ ペアによる対話ワーク (2セット)

- ★一人2分間で、話し手は「働く」における「幸せ・不幸せ」についてベン図をもとに話してみよう！
- ★聴き手は「傾聴姿勢」を意識しましょう。気づいたことを下の欄に書き残そう。

MEMO欄

働くことには「幸せ・不幸せ」の両側面がある
就職できるか心配をしているのはみんな一緒だった

◆ 学習

- ★働いていて「不幸せ」にならないために、労働に関する法と制度があることを理解しよう。
※参考資料：『知って役立つ労働法』&『まんが知って役立つ労働法Q&A』

MEMO欄

総合労働相談コーナーやハローワークなどの相談窓口がたくさんある
『知って役立つ労働法』&『まんが知って役立つ労働法Q&A』を見て労働法について興味を持た

ワークシートA(まとめ)

◎あなたが考えた「働く」と「幸せ・不幸せ」について、ワンセンテンスでまとめてみよう！

--

◎本日の授業で、気になったことを質問形式で書いてみよう！（最低1つ以上）

(例) Q. なぜ人は働くのか？
Q.
Q.

◎ 授業全体を通じて、感じたことを率直に振り返ってみましょう！

<p>[本日の自己評価] (○を付けてみよう)</p> <p>5. 完璧です！ 4. ほぼOK！ 3. できたかな 2. まあまあ 1. 少しね</p>
<p>[本日の授業内で自分ができたこと] (☑を入れてみよう)</p> <p><input type="checkbox"/> 会話する <input type="checkbox"/> 質問する <input type="checkbox"/> 教える <input type="checkbox"/> 教わる <input type="checkbox"/> 状況を把握する <input type="checkbox"/> 傾聴する <input type="checkbox"/> 場を活性化させる</p> <p><input type="checkbox"/> リーダーシップを発揮する <input type="checkbox"/> 他者をサポートする <input type="checkbox"/> 場を読む <input type="checkbox"/> メタ認知する <input type="checkbox"/> フリーライダーにならない</p>

※メタ認知・・・自分の認知活動を客観的にとらえること＝自らの認知を認知すること
 ※フリーライダー・・・対価を支払わず利益を得る”ただ乗りする人”のこと

◆ 本日学んだことを、他の人に説明できるように 60 字以上 80 字以内でまとめてみましょう！

⇒記入後、先生 or クラスメートへ！

--

年 月 日 年 組 名前：

ワークシートA (まとめ)の解答例

◎あなたが考えた「働く」と「幸せ・不幸せ」について、ワンセンテンスでまとめてみよう！

「働く」を「幸せ・不幸せ」のどちらにするかは自分のあり方次第で変わる

◎本日の授業で、気になったことを質問形式で書いてみよう！（最低1つ以上）

(例) Q. なぜ人は働くのか？

Q. 幸せって何だろう？

Q. 知っておくと損をしない労働法って何？

◎ 授業全体を通じて、感じたことを率直に振り返ってみましょう！

[本日の自己評価] (○を付けてみよう)

5. 完璧です！ 4. ほぼOK！ 3. できたかな 2. まあまあ 1. 少しね

[本日の授業内で自分ができたこと] (☑を入れてみよう)

会話する 質問する 教える 教わる 状況を把握する 傾聴する 場を活性化させる

リーダーシップを発揮する 他者をサポートする 場を読む メタ認知する フリーライダーにならない

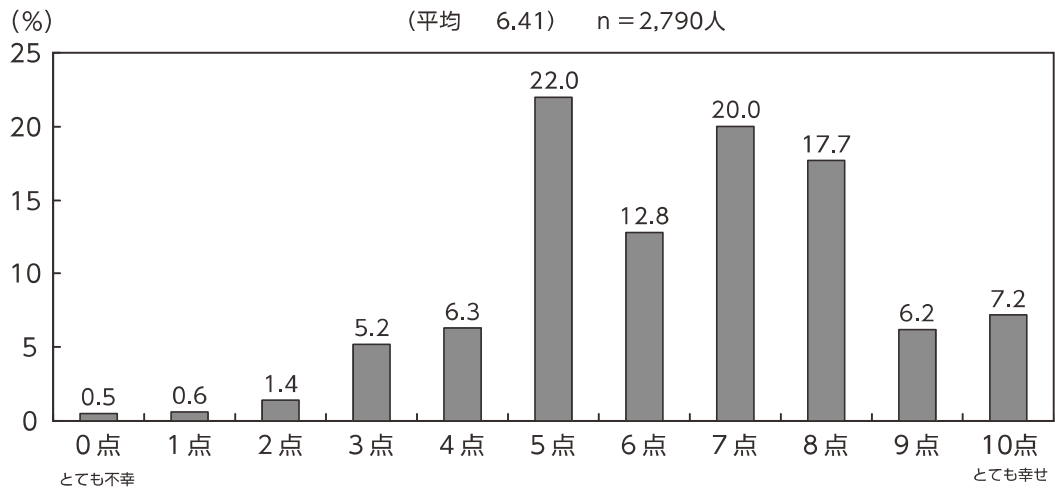
◆ 本日学んだことを、他の人に説明できるように 60 字以上 80 字以内でまとめてみましょう！
⇒記入後、先生 or クラスメートへ！

「働く」ということについて、みんなが多様な価値観を持っていることを知ることができた。また、少しでも幸せにするために助けてくれる労働法や制度の存在を理解した。

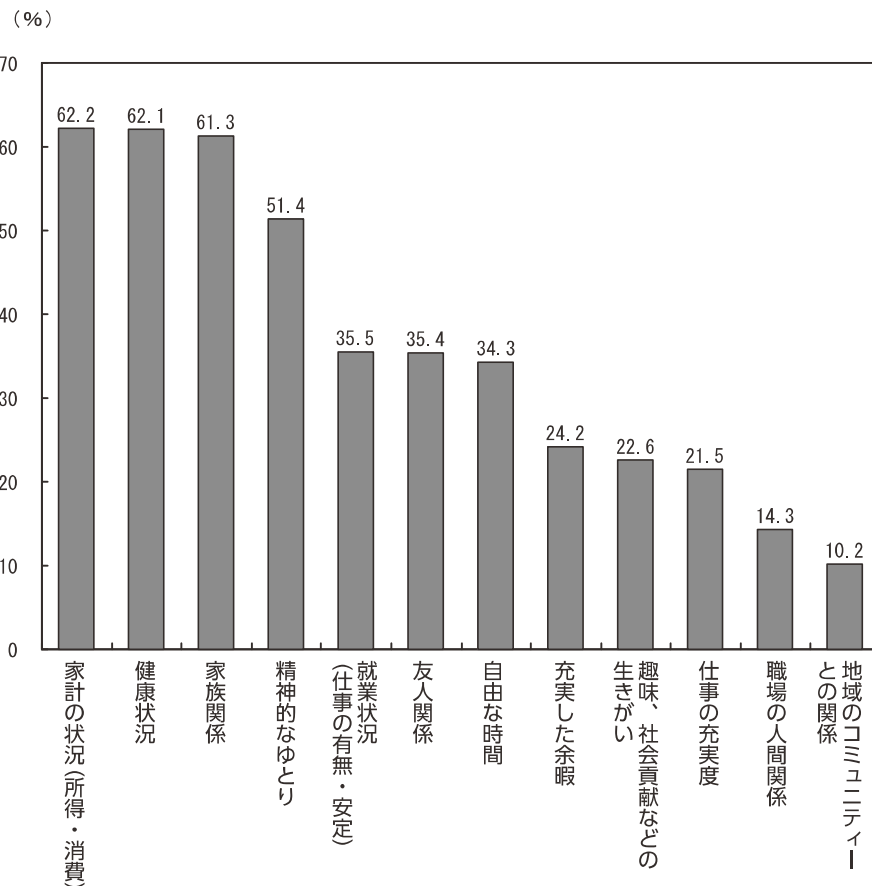
年 月 日 年 組 名前：

国民生活選好度調査結果（平成23年度、内閣府）

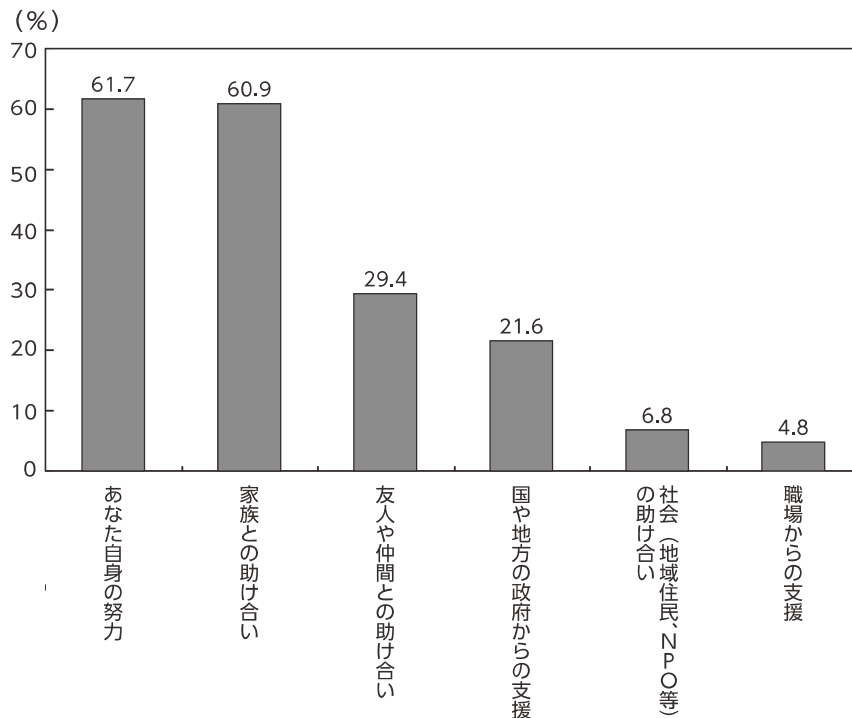
問 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。



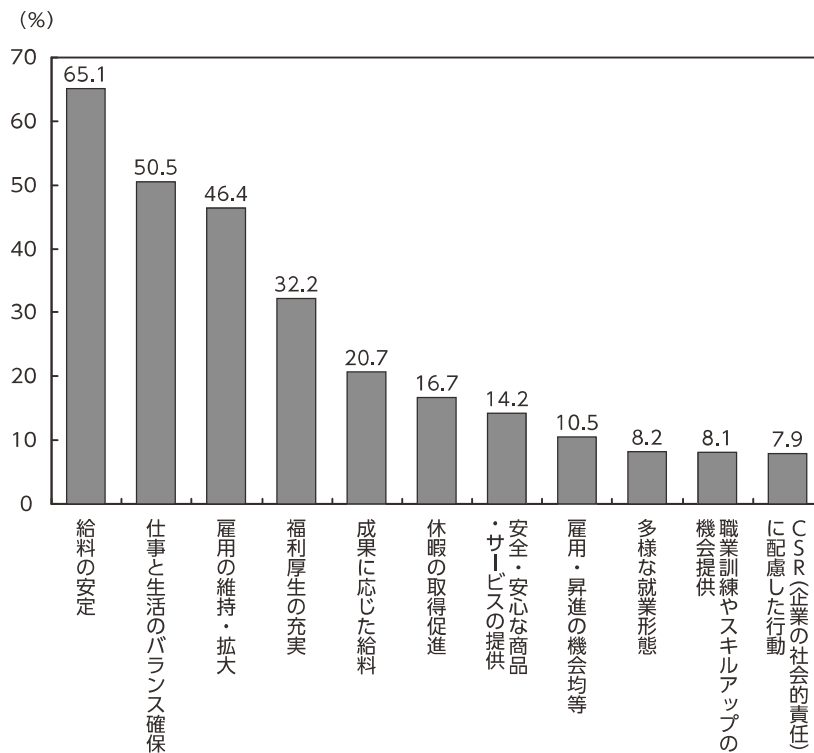
問 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(n=2,792人)



問 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものに2つまで○をつけてください。(n=2,786人)

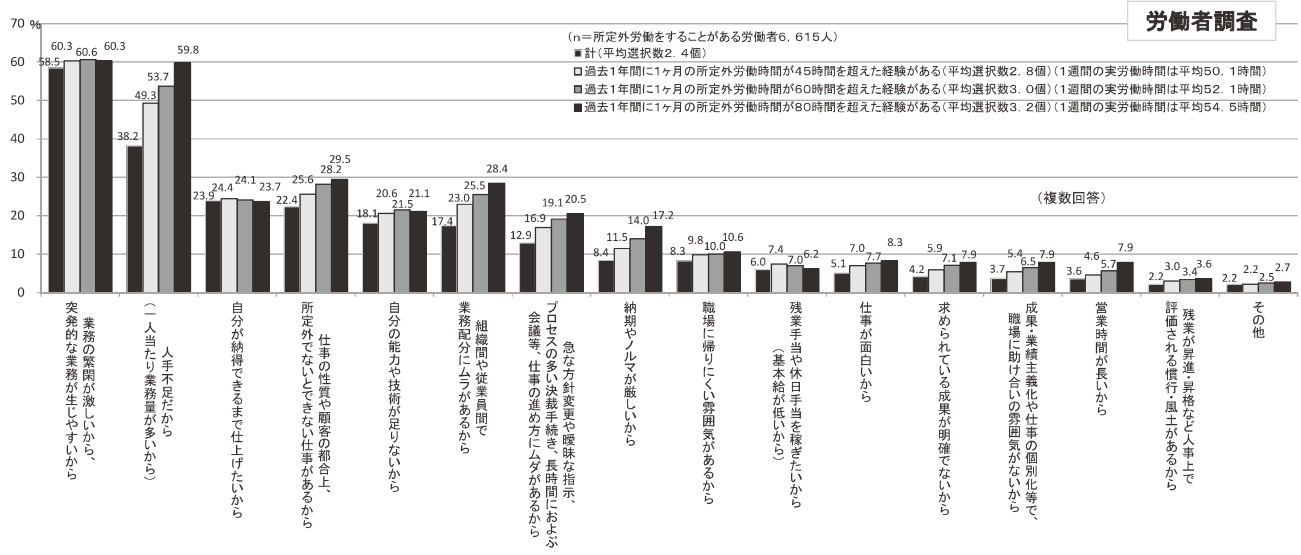
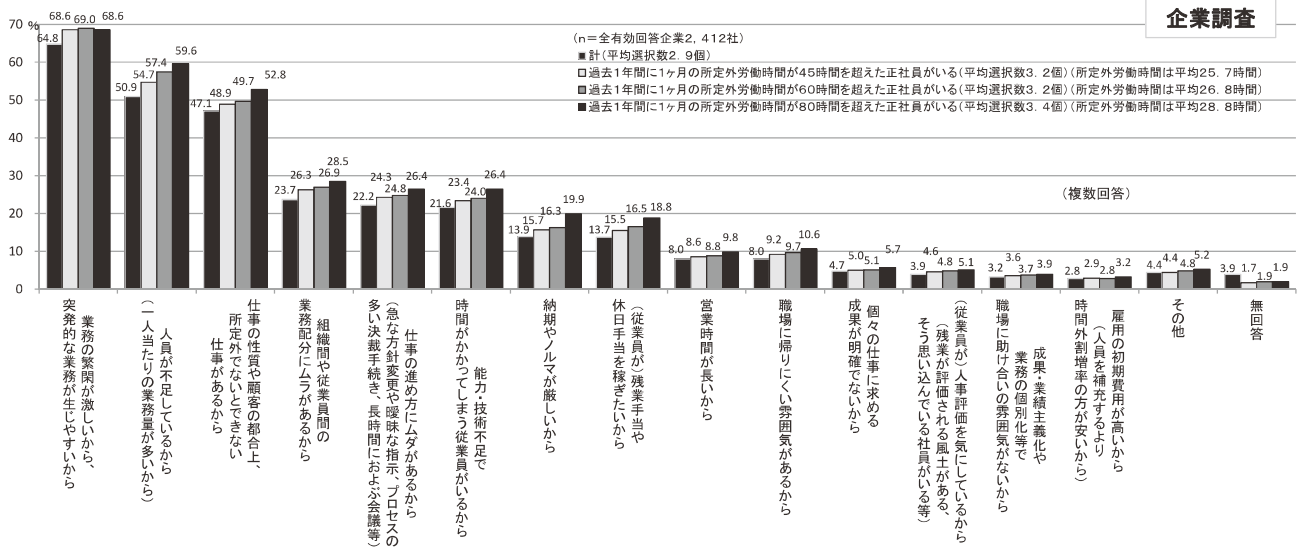


問 企業や事業者による次のような行動のうち、その職場で働く人々や社会全体の幸福感を高めると思うものは何ですか。最も重要と思うものに3つまで○をつけてください。(n=2,756人)



「労働時間や働き方のニーズに関する調査」(労働者調査)(平成27年度、(独)労働政策研究・研修機構)

【企業及び労働者が考える所定外労働の発生理由】



【仕事と生活のバランスに関わる現状・理想と所定外労働の実施状況や年次有給休暇の取得状況】

(%)

	現状										理想										労働者調査 理想は「ワークライフバランス型」であるいは 現状は「仕事に重点型」であるいは となっている割合
	合計 (A)	犠牲にしている生活に比べて、 仕事に求める生活に傾ける	それ以外に生活も楽しむが、 仕事に重点を置く	両方から力を取り入れるが、 生活も、	仕事に重点を置くが、 生活も、	無回答	仕事に重点型計	生活に重点型計	犠牲にしている生活に比べて、 仕事に求める生活に傾ける	それ以外に生活も楽しむが、 仕事に重点を置く	両方から力を取り入れるが、 生活も、	仕事に重点を置くが、 生活も、	無回答	仕事に重点型計	生活に重点型計						
計	8,881	7.5	40.1	37.5	7.8	6.5	47.6	8.5	1.7	12.2	59.8	14.4	2.8	9.1	13.9	17.2	37.1	36.3			
男性・20歳以下	948	9.1	39.8	37.7	7.9	5.0	48.9	8.5	2.5	15.6	55.4	14.1	5.1	7.3	18.1	19.2	43.4	41.1			
30歳代	2,101	8.9	43.6	35.7	5.5	5.8	52.5	6.0	2.5	14.8	57.6	13.0	3.3	8.8	17.3	16.3	36.7	36.9			
40歳代	1,863	8.9	45.1	34.2	4.5	6.7	54.0	5.2	1.7	14.2	57.8	13.3	2.7	10.3	15.9	16.0	34.6	37.9			
50歳代以上	493	6.7	42.4	33.9	4.1	11.8	49.1	5.3	2.6	11.2	50.3	17.2	3.0	15.6	13.8	20.2	30.4	30.6			
女性・20歳以下	1,039	4.0	34.0	41.1	14.0	5.7	38.0	15.3	1.3	8.9	61.1	18.4	2.5	7.9	10.2	20.9	32.3	27.3			
30歳代	1,230	5.4	34.1	40.7	13.1	5.9	39.5	13.9	0.3	7.8	65.9	16.4	1.9	7.6	8.1	18.3	39.6	36.0			
40歳代	964	7.1	36.4	41.6	7.8	7.0	43.5	8.0	1.0	8.5	69.5	11.7	1.1	8.1	9.5	12.8	41.2	37.7			
50歳代以上	207	8.2	40.1	34.8	7.2	9.2	48.3	7.7	2.4	13.5	57.0	14.5	1.9	10.6	15.9	16.4	39.1	45.4			
45時間超の労働経験あり	3,088	12.7	49.1	27.9	4.1	6.6	61.8	4.7	1.8	14.0	58.4	14.9	2.9	7.9	15.8	17.8	30.5	47.6			
60時間超の労働経験あり	1,702	15.6	50.0	24.9	3.6	5.5	65.6	4.1	2.2	14.8	58.2	15.0	2.5	7.3	17.0	17.5	29.7	50.4			
80時間超の労働経験あり	680	20.0	50.6	19.6	3.1	6.3	70.6	3.5	1.8	16.3	58.1	14.3	3.2	6.3	18.1	17.5	27.5	54.0			
年休取得率が30%以下	2,703	10.4	44.4	33.2	5.5	5.9	54.8	6.1	2.1	13.6	59.7	14.2	2.0	8.4	15.7	16.2	34.4	41.6			
30%超～50%以下	1,654	5.7	43.5	38.0	7.1	5.4	49.2	7.4	1.4	13.5	60.9	14.0	2.3	8.0	14.9	16.3	39.2	36.0			
50%超～80%以下	1,321	4.6	35.0	45.0	9.8	4.8	39.6	10.5	1.2	11.0	61.5	15.6	3.2	7.6	12.2	18.8	41.2	31.1			
80%超	1,169	4.9	30.2	45.1	13.1	5.6	35.1	14.2	1.2	9.8	61.8	15.3	3.5	8.3	11.0	18.8	43.0	27.2			

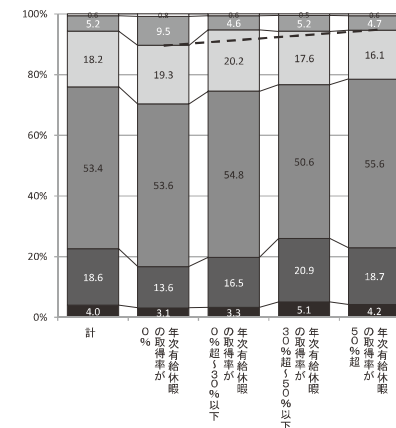
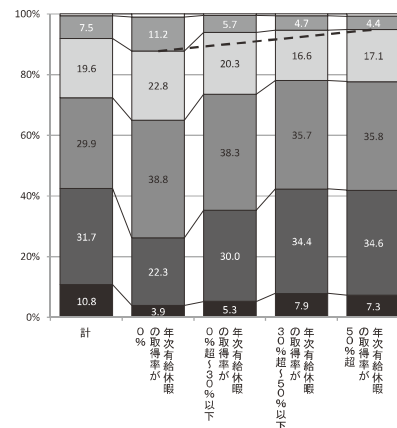
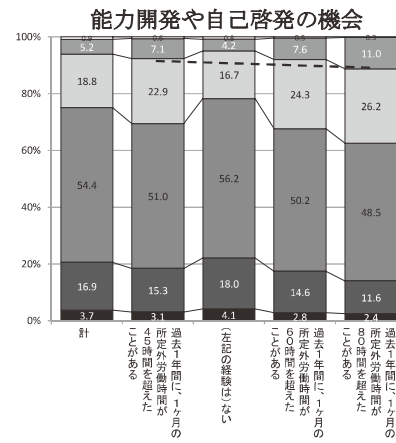
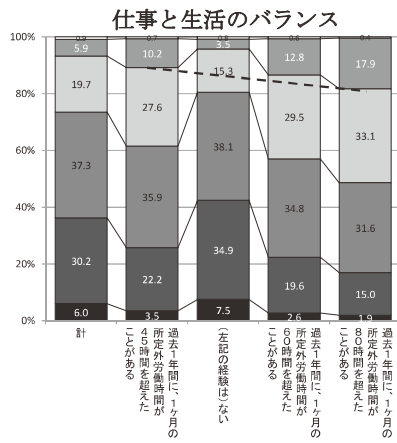
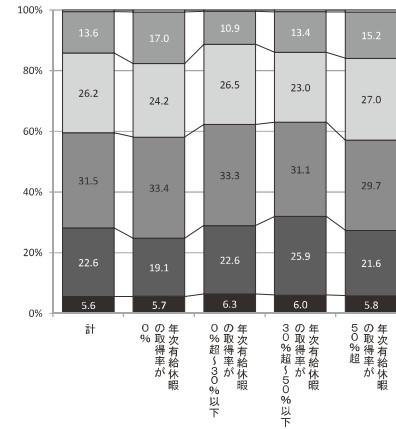
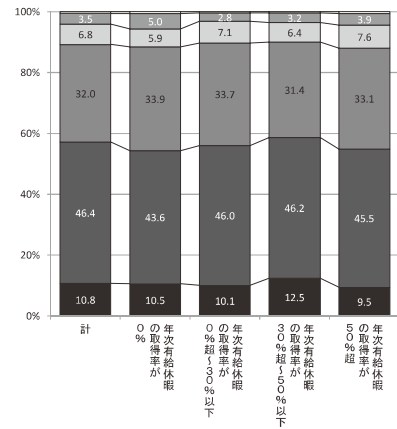
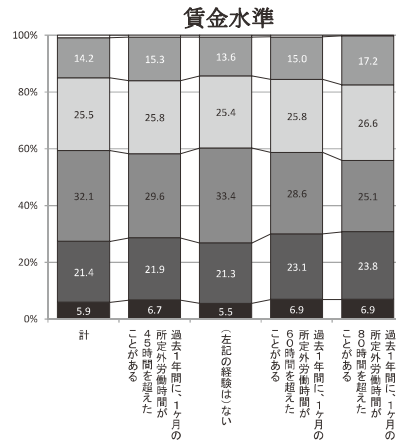
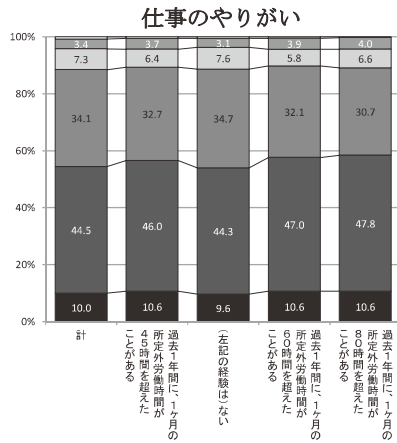
	n数	1ヶ月当たりの平均的な所定外労働時間(時間)		過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が4.5時間を超えた経験(%)		過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が6.0時間を超えた経験(%)		過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が8.0時間を超えた経験(%)		年次有給休暇の取得率 (労働者平均)
		(労働者平均)	(時間)	過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が4.5時間を超えた経験(%)	過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が6.0時間を超えた経験(%)	過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が8.0時間を超えた経験(%)	過去1年間に1ヶ月の所定外労働時間が8.0時間を超えた経験(%)			
仕事に重点型	4,228	30.0	30.0	45.1	26.4	11.4	40.6	40.6		
バランス型	3,326	18.7	18.7	25.9	12.7	4.0	50.4	50.4		
生活に重点型	750	15.5	15.5	19.2	9.3	3.2	57.6	57.6		
バランス型との差(仕事に重点型)		11.3	11.3	19.2	13.7	7.4	-9.8	-9.8		
バランス型との差(生活に重点型)		-3.2	-3.2	-6.7	-3.4	-0.8	7.2	7.2		

【所定外労働や年次有給休暇が労働条件等の満足度に及ぼす影響】

(n=男性労働者5,912人)

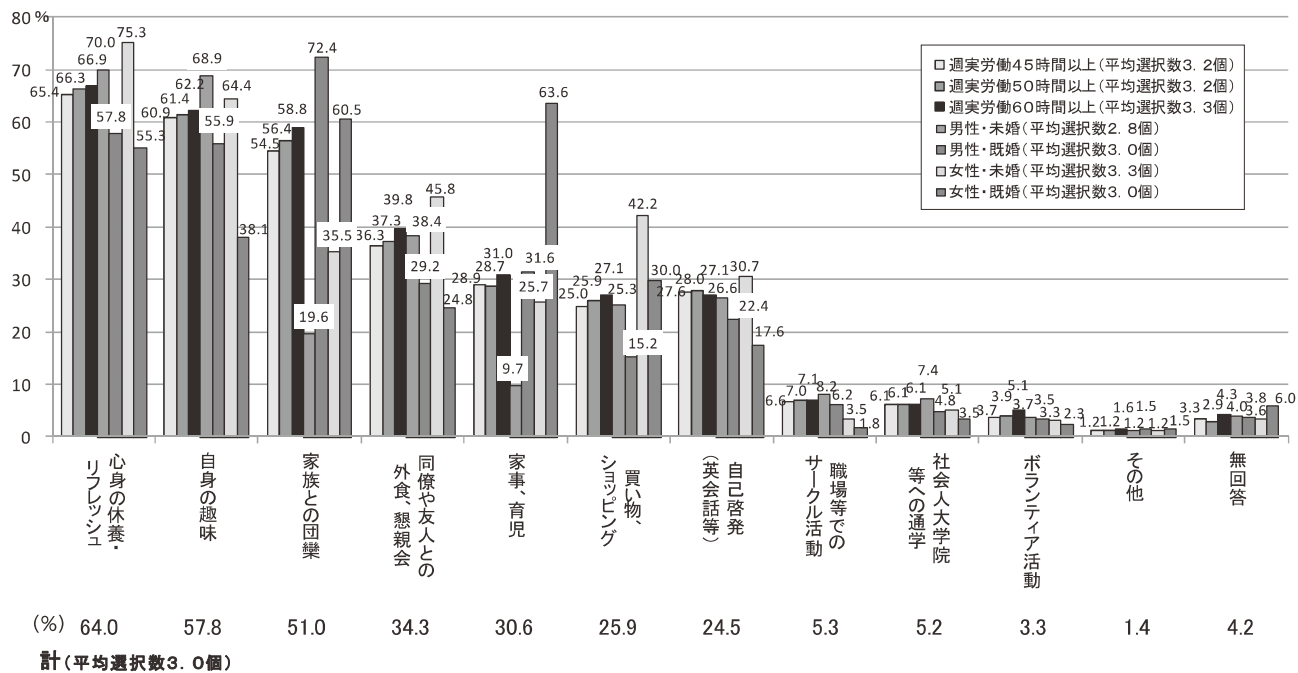
労働者調査 n=8,881人

- 無回答
- 不満
- どちらかといえば不満
- 何とも言えない
- どちらかといえば満足
- 満足



【18時頃には退社できるようになったらしたいこと】

労働者調査



n=8,881人

ワークシートB

年 月 日 年 組 名前：

【目標】授業の主役であるわたしたち(生徒)が主体となり、
協働性・社会性を身に付け、一人一人が学び高め合う！

学び合い、高め合い、みんな成長！／アクティブラーナーになろう！／傾聴のスペシャリストになろう！

本日の評価基準(ルーブリック評価)

A	B	C
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、自らの意見をもとに他者と学び合い、高め合うことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、他者との対話を通じて自らの意見を持つことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、ある程度理解し、自らの意見を持つことができる。

1チーム2～∞人

※教え合い・質問を積極的に！
※時には1人でもOK！

◆ ゲスト紹介

★本日本日お越しのゲストの方はどんな方かな？

(メモ)

◆ 本日のテーマ&インタビューのルール (グラウンドルール)

@本日のテーマ@
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係は？～「働く」って何？ 「幸せ・不幸せ」って何？～
@インタビューのルール(グラウンドルール)@
①この場にいるみなさんの安全・安心を大切に！（みんな緊張しているんですよ）
②本日の授業では立場・年齢差は関係なし！（大人も生徒も一緒です）
③一人一人が責任を持って授業に臨もう！（無責任な態度はNGです）

◆ ゲストにインタビュー

★本日のゲストに、各チームからペアを派遣してインタビューをします。

★ペアでは「幸せ・不幸せ」の視点に分かれて質問をします。

★質問の回答をメモにとり、ゲストの「解体新書」を作るのが目標です。

※質問が重要です。オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを使い分けましょう！

※インタビューをする際には、ゲストに対し誠意を持って傾聴姿勢で臨みましょう！

「幸せ」視点	「不幸せ」視点
<p>例：働いていて「幸せ」だと感じることはありますか？ あるとしたらどのような時ですか？</p>	<p>例：働いて、どのようなことが起こったら「不幸せ」だと思いますか？ この先どのようなことが起こってしまったら「不幸せ」になると思いますか？</p>

◆ ペアでの共有

★「幸せ」と「不幸せ」それぞれの視点でのインタビュー内容をペアで共有しましょう！

◆ 労働法と制度について

※参考資料：『知って役立つ労働法』『まんが知って役立つ労働法Q&A』

MEMO欄

◆ KP法によるプレゼン準備

※8～12枚を想定／縦横の使い方は自由／横置き1枚当たり、10文字×3行が最大字数／3色まで／イラストなどのアレンジOK！

★KP法とは★
 KP法とは、「紙芝居プレゼンテーション」の略です。A4サイズの紙に、伝えたいキーワードをサンプルにバーンと書いて、黒板やホワイトボードなどにペタペタと貼りながら話す手法です。

ワークシートBの解答例

年 月 日 年 組 名前：

【目標】授業の主役であるわたしたち(生徒)が主体となり、
協働性・社会性を身につけ、一人一人が学び高め合う！

学び合い、高め合い、みんな成長！／アクティブラーナーになろう！／傾聴のスペシャリストになろう！

本日の評価基準(ルーブリック評価)

A	B	C
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、自らの意見をもとに他者と学び合い、高め合うことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、他者との対話を通じて自らの意見を持つことができる。	「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係について、ある程度理解し、自らの意見を持つことができる。

1チーム2～∞人

※教え合い・質問を積極的に！
※時には1人でもOK！

◆ ゲスト紹介

★本日も越しのゲストの方について“質より量”でメモを残そう！

(メモ)

広告代理店勤務／入社8年目／女性／大卒／既婚／主任として10人程度の部下をマネジメント

◆ 本日のテーマ&インタビューのルール (グラウンドルール)

@本日のテーマ@
「働く」と「幸せ・不幸せ」の関係は？～「働く」って何？ 「幸せ・不幸せ」って何？～
@インタビューのルール(グラウンドルール)@
①この場にいるみなさんの安全・安心を大切に！（みんな緊張しているんですよ）
②本日の授業では立場・年齢差は関係なし！（大人も生徒も一緒です）
③一人一人が責任を持って授業に臨もう！（無責任な態度はNGです）

◆ ゲストにインタビュー

★本日のゲストに、各チームからペアを派遣してインタビューをします。

★ペアでは「幸せ・不幸せ」の視点に分かれて質問をします。

★質問の回答をメモにとり、ゲストの「解体新書」を作るのが目標です。

※質問が重要です。オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンを使い分けましょう！

※インタビューをする際には、ゲストに対し誠意を持って「傾聴姿勢」で臨みましょう！

「幸せ」視点	「不幸せ」視点
<p>例：働いていて「幸せ」だと感じることはありますか？ あるとしたらどのような時ですか？</p> <p>お客様(クライアント)からのお礼の一言 年次有給休暇もきちんととれてワーク・ライフ・バランス が取れている</p>	<p>例：働いて、どのようなことが起こったら「不幸せ」だと思 いますか？ この先どのようなことが起こってしまったら「不幸せ」になると 思いますか？</p> <p>育児で仕事を辞めなくてはいけなくなるかもしれないという 不安がある 介護をしつつ仕事ができるか</p>

◆ ペアでの共有

★「幸せ」と「不幸せ」それぞれの視点でのインタビュー内容をペアで共有しましょう！

お客様(クライアント)に喜んでもらえることが仕事のやりがいにつながる
女性ならではの「不幸せ」の不安がある
キャリアプラン、ライフプランが男女では異なる傾向がある

◆ 労働法と制度について

★労働法と制度について気づいたことを“質より量”で書き記しましょう！

※参考資料：『知って役立つ労働法』『まんが知って役立つ労働法Q&A』

MEMO欄

- ・年次有給休暇はアルバイトでも場合によっては使える
- ・男女雇用機会均等法で男女の差が埋まりつつある？
- ・育児・介護休業法により昔に比べて女性が働きやすくなっている

◆ KP法によるプレゼン準備

※8～12枚を想定／縦横の使い方は自由／横置き1枚当たり、10文字×3行が最大字数／3色まで／イラストなどのアレンジOK！（書いたことを話す・話したいことを書く）

★KP法とは★

KP法とは、「紙芝居プレゼンテーション」の略です。A4サイズの紙に、伝えたいキーワードをシ
ンプルにバーンと書いて、黒板やホワイトボードなどにペタペタと貼りながら話す手法です。

ワークシートB (まとめ)

◎あなたが考えた「働く」と「幸せ・不幸せ」について、ワンセンテンスでまとめてみよう！

--

◎本日の授業で、気になったことを質問形式で書いてみよう！（最低1つ以上）

(例) Q. なぜ人は働くのか？
Q.
Q.

◎ 授業全体を通じて、感じたことを率直に振り返ってみましょう！

[本日の自己評価] (○を付けてみよう) 5. 完璧です！ 4. ほぼOK！ 3. できたかな 2. まあまあ 1. 少しね
[本日の授業内で自分ができたこと] (☑を入れてみよう) <input type="checkbox"/> 会話する <input type="checkbox"/> 質問する <input type="checkbox"/> 教える <input type="checkbox"/> 教わる <input type="checkbox"/> 状況を把握する <input type="checkbox"/> 傾聴する <input type="checkbox"/> 場を活性化させる <input type="checkbox"/> リーダーシップを発揮する <input type="checkbox"/> 他者をサポートする <input type="checkbox"/> 場を読む <input type="checkbox"/> メタ認知する <input type="checkbox"/> フリーライダーにならない

◆ 本日学んだことを、他の人に説明できるように60字以上80字以内でまとめてみましょう！

⇒記入後、先生 or クラスメイトへ！

--

年 月 日 年 組 名前：

ワークシートB (まとめ)の解答例

◎あなたが考えた「働く」と「幸せ・不幸せ」について、ワンセンテンスでまとめてみよう！

ワークライフバランスは大事！

◎本日の授業で、気になったことを質問形式で書いてみよう！（最低1つ以上）

(例)Q.なぜ人は働くのか？

Q. 男性と女性で「働く」ことへの価値観はどう違うのか？

Q. 幸せに働いていくために今できることは何だろう？

◎ 授業全体を通じて、感じたことを率直に振り返ってみましょう！

[本日の自己評価] (○を付けてみよう)

5. 完璧です！ 4. ほぼOK！ 3. できたかな 2. まあまあ 1. 少しね

[本日の授業内で自分ができたこと] (☑を入れてみよう)

☑会話する ☑質問する ☑教える ☑教わる □状況を把握する ☑傾聴する □場を活性化させる
□リーダーシップを発揮する ☑他者をサポートする ☑場を読む □メタ認知する ☑フリーライダーにならない

◆ 本日学んだことを、他の人に説明できるように60字以上80字以内でまとめてみましょう！

⇒記入後、先生 or クラスメートへ！

「働く」ことへの興味がこれまで以上に湧いた。特に男性と女性との労働との違いやキャリアプランの差などを知ることができて、今自分にできることをしていきたいと考えた。

年 月 日 年 組 名前：